平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究事業
実施報告書

1, 学校名 岐阜県吉城郡宮川村立宮川中学校

2, わかる授業、楽しい授業 (選択1・・・全校による取り組み)

・村内の生物アルバム	}	インターネットによる資料検索、
・英語版宮川ガイド		ワープロによる資料整理
(国際理解教育)		デジカメ等を活用した取材活動
・宮川の民俗・居・食・住		

高速大容量回線を用いた学校間交流

- ・水質調査のデータ交流会(2学期中にはできず)

ホームページの作成

- ・夏休み中に2回の職員研修会
- ・役割分担(テーマ別)と個別作業

3, 実施時期

- ・選択1 5月～11月
- ・水質調査 6月～継続中
- ・ホームページ 7月～継続中

4, 成果と課題

ホームページの作成については、夏休みの前半でホームページ作成ソフト活用の研修会をおこない、個々の職員がホームページに関する理解を深めることができた。また、夏休み後半に第2回目のホームページ作成研修会を開き、ホームページの内容(概要)を決め、校務分掌等も考え合わせながらホームページの作成を分担した。現在も作成中であるが、何とか今年度中に正式に立ち上げたい。

コンピューターが普及するにつれ、自宅で当たり前のようにコンピューターを使いメール交換やインターネットからの情報収集をする生徒が増えている。単にコンピューターを使うことで生徒の興味・関心を高めることはとうてい考えられない。今年度は特に選択教科でコンピューターを使う機会が増えたが、何のためにどのように使うかのノウハウをさらに見極める必要がある。

今後の方向としては以下のように考えている

1年生

- ・パソコンの基本的な扱いについて知る。
- ・ソフトウェアの著作権などについて基本的な知識を習得する。
- ・インターネットからの情報収集手段を習得する。
- ・ワープロソフトを利用して文書作成できるようにする。

2年生

- ・周辺機器(デジタルカメラ、スキャナ、プリンターなど)を使用できるようにする。
- ・表計算ソフトを活用して各種情報を整理できるようにする。

3年生

- ・各種ソフトや周辺機器を活用して、各自テーマをもち、工夫しながら外部へ情報発信できるようにする。
- ・生徒会活動など活用分野を広げる。

ハードウェアについては、年々充実しており、活用範囲も増えつつあるが、当り前の道具として利用するためにはまだ問題点があり(同時に多数回線に接続する際に不具合が生じたり、複数の学年が同時に使用する必要が生じたりする際に機器が不足)今後カリキュラムに柔軟性をもち、設備の拡充を図りながら対応していきたい。